



日本語とエチオピアの言語の共通点

(Sidaama 語) [2]

河内一博 Kawachi Kazuhiro (防衛大学校)

省略表現

日本語は、最後までものをはっきり言わない言語だと言われることがある。実際、日常会話に注意して耳を傾けると、主語 - 目的語 - 動詞が揃っていなかったり、文末の動詞が文を完結させる形式ではなかったりするが、発話として成り立っていることが非常に多い。特に「から」「ので」「て」「ば」「たら」「ても」「が」「けど」「し」といった接続助詞を使い、不完全に文を終えても、発話としては完全なものとして機能している「言いさし表現」が頻繁に使われる。例えば、(1)「ここに本を置いておくから。」や(2)「たくさんご飯を食べて。」のような表現である。言いさし構文では、あとに続くはずの主節が省略されて途中で終わっているが、主節がなくても聞き手は理解できるため、会話が成り立つのだ。

Sidaama 語にも何種類もの言いさし構文がある。どれも日本語に非常によく似ている。例えば日本語の「から」「ので」に相当する理由を表す節は、話し手が意図した命令を、文脈に応じて聞き手に解釈するよう暗示する(上の(1)に類似)。「て」に相当する副動詞の形式は、依頼したり聞き手を非難したりする(上の(2)に類似)。

条件節による言いさし構文は、非常に多義的である。この構文も日本語に類似して、主語の人称、および省略された主節が何か(節で表された出来事によって影響を受けるのは話し手と聞き手のどちらか、その影響が有益不利益か)によって、様々な意味を持ちうる。さらには

動詞のアスペクトと発音のしかた(動詞の高いピッチの位置)によっても意味が変わる。

(3) *waá abbatta-ro.*

水 持ってくる - あなた(女性)が - ならば
⇒文字通りには、「あなた(女性)が水を持ってくれば。」

(3)の例文は、話し手にとって有益な出来事であると捉えられるならば、願望「持ってきてくれたらよいのに」、依頼「持ってきてください」、命令「(私に)持ってきてなさい」、聞き手にとって有益な出来事であると捉えられるならば、提案・助言「持ってきたらどうか」、命令「(聞き手自らに)持ってきてなさい」といった意味になる。(3)で動詞が完了形であった場合、話し手にとって有益な出来事であったと捉えられるならば、過去の事実に対する願望や後悔「持ってきてくれればよかったのに」や非難「持ってきてべきだった」を表す。

英語にも条件節による言いさし構文はある(例: *If you come this way.*)。この場合も、省略された主節の出来事が話し手自身にとって有益であるということが、構文全体の意味に関係してくる。このように、特に条件節による言いさし構文のような省略表現は、その生産性や多義性は言語によって違っていても、似たような原理があるのかもしれない。文脈に応じて構文の意味を聞き手が理解できるため、主節の省略が慣習化されているようである。

表紙写真について

様々な思いが交錯するイスラエル

大島希巳江 Oshima Kimie (文京学院大学)

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地とされるエルサレム。様々な宗教の信者が数多く訪れる。チリからきたキリスト教徒の陽気な女性は、イエスが十字架を背負って歩いた道(右上)ではひれ伏して涙を流し、トルコからきた二人組のユダヤ人男性は嘆きの壁(右下)で長時間祈りを捧げていた。少し東へ行けば死海があり、マッドスバや浮遊体験をする観光客も多い。いまや観光地となったエルサレムは活気にあふれ、全ての宗教を超越したにぎわいとそれぞれの思いを馳せる静けさとが交

錯する不思議な空気に満ちていた。

今回はテルアビブ大学での講義と英語落語公演のためにイスラエルを訪れた。アジア研究をしている学生の中には、公演後に流暢な日本語で話しかけてくれた人もいた。親日派の人が多く、とても好意的に受け入れられた印象である。大学付近の海岸沿いにはヤシの木が並ぶ白い砂のビーチが広がり、海水浴客や学生が夕方まで楽しんでいる。爆弾テロなどとは無縁に見えたが、実は町中には多くの銃弾の跡が残されている。

テルアビブ大学に招致してくれた

ラケル教授は、17歳の息子と14歳の娘を持つ母親でもある。ちょうど私の滞在中に、息子の徴兵通知が届いた。高校卒業後、男女共に兵役義務があるのだ。ラケル教授いわく、「イスラエルのすべての親はこの国と世界の平和を誰よりも願っている。何かあれば自分の子どもたちが危険にさらされるのだから。ほんの一部の過激派のために、イスラエル人のイメージが悪くなってしまっているのはとても残念。多くの一般市民は、日本人と一緒に。平和に暮らしたいと思っているのです。」

